

## ご参加実績

日産自動車 ジヤトコ 旭化成グループ Meiji Seika ファルマ ライオン 村田製作所 三菱マテリアル	マツダ ソニー 麒麟ビール 大塚製薬 東日本旅客鉄道 テルモ 日本曹達	富士重工業 東芝グループ アサヒビール YKKグループ 凸版印刷 コマツ マキタ	三菱自動車工業 日立製作所 キューピー リョービ ブリヂストンスポーツ 日本ハム 他	ブリヂストン NECグループ 味の素冷凍食品 東京ガス カシオ計算機 ハウス食品 *社名順不同
--	---	--	--	---

## 2017 R&D職・技術職 マネジメント 交流研修

価値創造のリーダーシップ

BEAM CONSULTING GROUP

## 対象・参加要件

【対象】 研究、開発、設計、技術部門における管理・監督層（部下をお持ちの職位）  
課長～係長が主な対象層です。

【参加要件】 グループ編成の都合上、1社様につき、3名～5名のご参加をお願いします。

## 開催日程

1泊2日（木・金）

	日程	会場
第1回	10月19日（木）～20日（金）	富士電機能力開発センター

### 【会場】

富士電機能力開発センター  
〒191-8502 東京都日野市富士町1番地  
TEL:042-585-6334  
JR中央線「豊田駅」下車 徒歩5分



ビーム・コンサルティンググループ株式会社  
〒160-0005 東京都新宿区愛住町22 オカダビル  
TEL 03(3354)2721 FAX 050(3737)1957  
guest@beamcons.co.jp http://www.beamcons.co.jp

# 研修のねらいと期待する成果

激変する経済環境の中、各社が永続的に発展するためには、自ら新たな価値の創造を継続して行うことができる企業風土・職場風土の形成が不可欠と言えます。特に価値創造の源泉とも言える研究・開発・技術部門においては、新商品、新サービス、新技術の創出そのものが日常業務となっており、その活動基盤となる職場の風土形成にとって、チームをマネジメントするリーダー層の果たす役割の重要度はこれまで以上に高くなってきています。この研修では、研究・開発・技術部門ならではのマネジメント上の課題に対し、現状他社がどう取り組んでいるかを知るとともに、業界は違えど同じリーダー層が抱える課題を共有し、自社内では得がたい課題解決のヒントを得ることを目的としています。

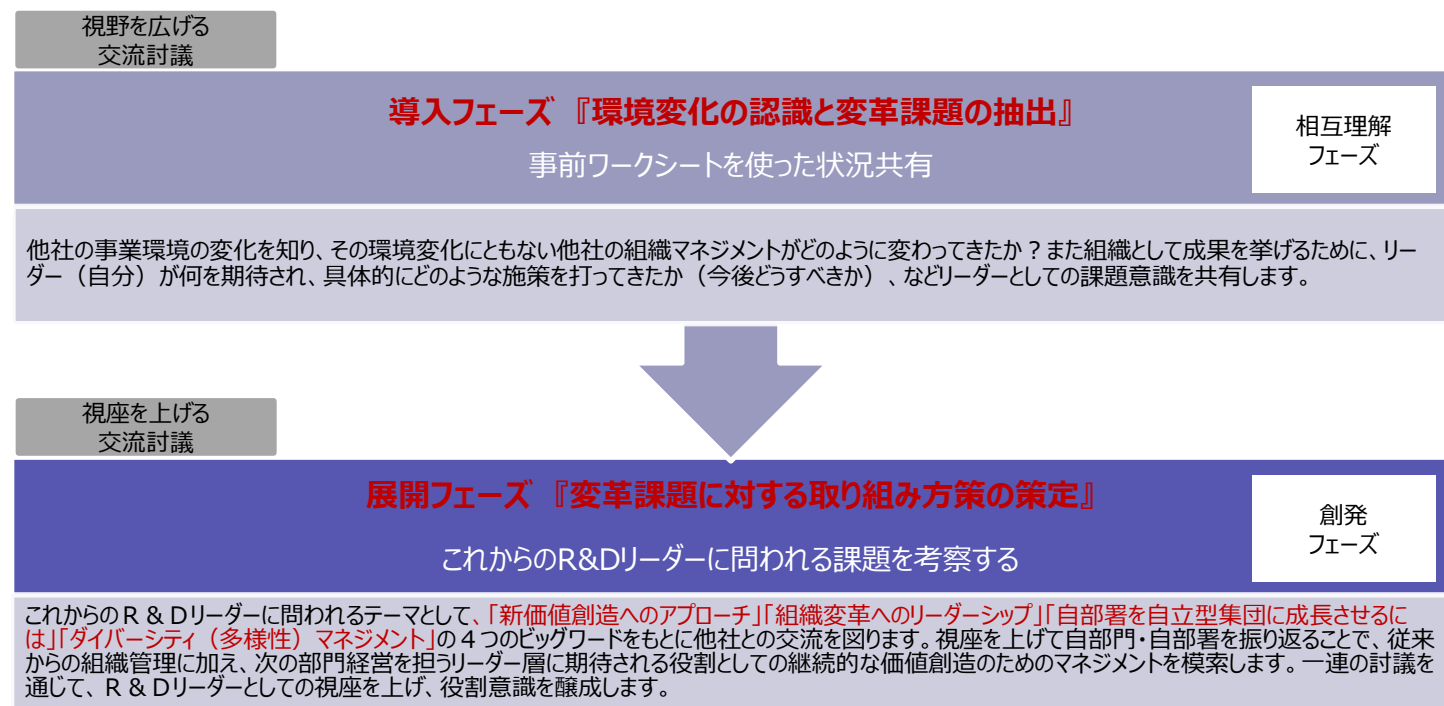
- 新しい価値創造を継続的に行うための組織風土改革に向けたチームマネジメントのあり方を模索する
- 他社の研究・開発・技術部門における具体的施策に学ぶ（活きたケーススタディ）
- リーダーとして各自が抱える業務遂行上・組織管理上の課題に対する、自分（自社）の思考枠を超えた解決策を得る
- リーダーとしての役割意識を醸成し、当面の実行課題を明確にする
- 異業種との交流を通じて、自社（自部門）の中で形成されてきた既成概念や固定概念を一旦こわした上での思考のスキームチェンジ
- 他社社員との人的ネットワークの構築

# 研修の特徴と参加者の声

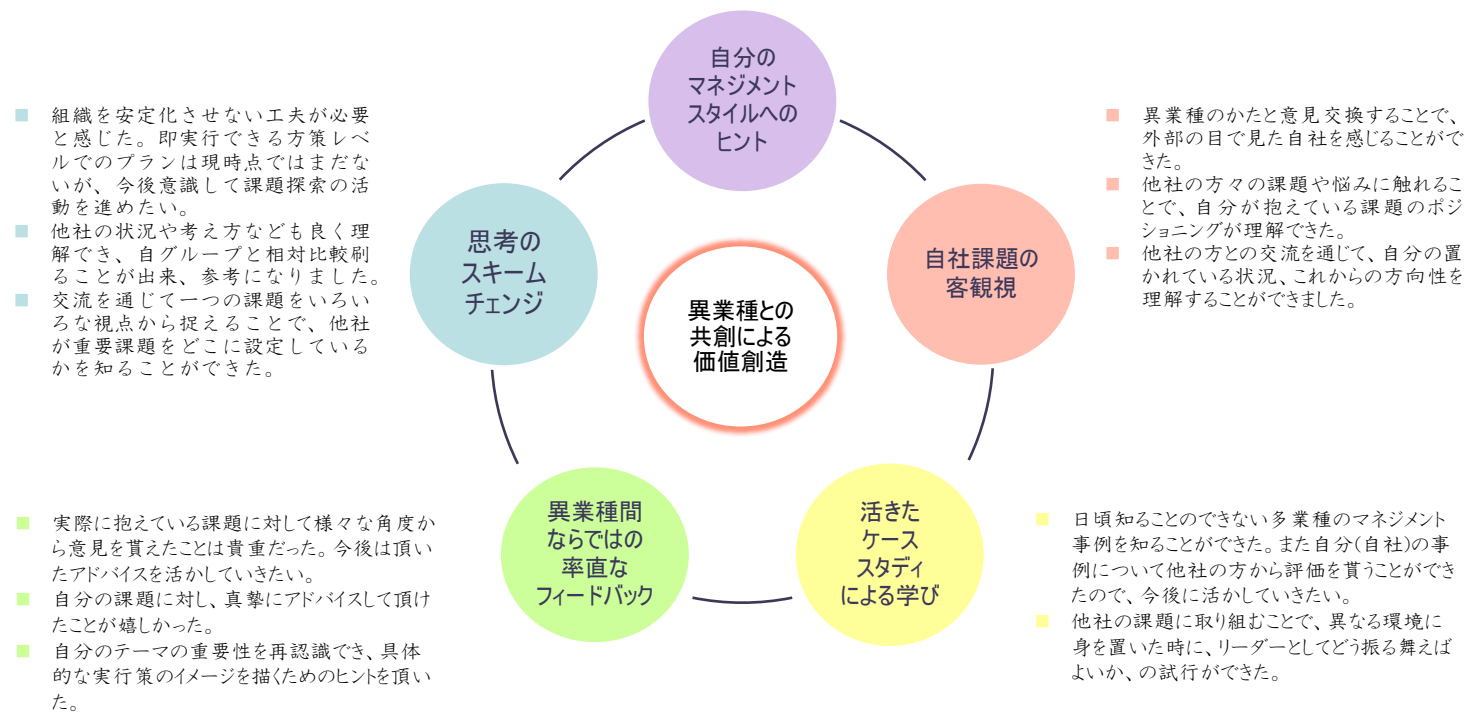
- 同職種による相互理解の促進**  
 R & D・技術部門に限定することで、業種は違えど近いバックボーンや共通言語を持つ受講者が集い、より相互理解が促進されます。
- R&D・技術部門ならではの課題の共有**  
 「付加価値創造のための部門間連携」「クリエイティブ人材創出のための人材育成」「開発スピード向上のための情報共有化」「イノベーションを生む土壌づくり」「複数抱えるテーマをどうマネジメントするか」「研究部門における部下への評価と動機づけ」など、研究・開発・技術部門ならではの課題がテーマアップされ、各社の取り組みを共有します。
- 同職種による有益なフィードバック**  
 R & D・技術部門に限定することで相互理解が促進され、結果、受講者一人ひとりが設定するmyテーマに対して、より有効で実行性の高いアドバイスを得られることが期待されます。

## 研修フロー

この研修では、受講者が日常業務に於いて抱えるリーダーとしての課題意識を研修の討議テーマとして持ち込んで頂き、その課題解決のヒントを他社社員との交流討議を通じて、誘発させることを期待しています。講師から知識やフレームワークを学ぶのではなく、**受講者が“相互に学びあう”、“お互いにテキストになる”**研修です。



- 自己流スタイルのマネジメントの見直しが必要と感じた。他社からの指摘により問題点が明確にされ解決のヒントが得られた。
- 構造壊しや成熟度別の対応など、これまで知らなかった考え方やノウハウを知ることができ、職場に持ち帰って展開していきたい。
- あらためて自分のユニットの問題点、課題を整理することができて良かった。他社の方からいろいろな意見を貰え、話を聞くことが出来、有益でした。



## タイムテーブル

第1日	9:30	【集合】 【オープニングオリエンテーション】 事務連絡、趣旨説明	第2日	7:00	【朝食】
	10:45	【導入フェーズ】 《環境変化の認識と変革課題の抽出》 事前ワークシートを使った状況共有		8:30	【チェックアウト】 昨日の振り返り 最終発表 ファンリレーターからのフィードバック
	12:00	【昼食】グループ毎に昼食		11:45	【集約フェーズ】 《各受講者の実行課題への落とし込み》 myテーマ設定
	13:00	事前ワークシートを使った状況共有（続き）		12:00	【昼食】 myテーマ設定（続き）
	14:30	【展開フェーズ】 《変革課題に対する取組み方策を検討》 グループ討議テーマ設定		13:00	myテーマの発表と相互フィードバック
	15:00	グループ討議		14:00	【クロージング】 《クロージング&アンケート記入》
	15:50	中間発表		16:45	【解散】
	17:20	【夕食】		17:00	
	18:00	中間発表（続き）			
	19:00	グループ討議（アウトプットのブラッシュアップ）			
19:30	【懇親会】				
21:00					